

住まいのかわら版

2012年04月号

UDhome
UDホーム株式会社

いらなくなつた衣服の活用法

だんだん暖かくなり、衣替えをして出た不要な衣服は、捨てるに上手に活かしましょう！

いよいよ春本番！みなさま元気で過ごしましょうか？

みなさんに暮らしと住まいを快適にするためのちょっと役立つ情報をお届けいたします。今回のテーマは「不要な衣服の活用法」です。

日に日に暖かくなってくると、ぼちぼち衣替えをする人もいるのではないのでしょうか？すると、ぜんぜん着ていない服や、いつか着るかも：なんていう服が出てくることも。「いつか：と考えて1年着なければ一生着ない」なんて世間でいわれていても捨てるのはもったいないですよ。ならば、さまざまな方法で次の行先を決めましょう。

家事や寄付に役立てましょう

まずは身近なところに活かしてみても、それでも余るなら、寄付をしてみてもいいかが？

活用法その1 家事に活かす

Tシャツなど綿素材の服は、小さめに切ってストックしておけば、雑



活用法その2 寄付する

巾や油の吸い取り用、靴磨きなどに使えます。アクリルセーターなら、大きめに切って丸めればいろんな場所の磨きや網戸掃除にも役立ちます。

全国には、海外へ衣服の寄付を行っている非営利団体がいくつかあります。普段着なら洗濯済みでシミなどのないきれいな物、肌着や靴下なら新品の物を段ボールに入れて送ればOK。海外輸送費として千〜2千円かかることもあり

ますが、少しの負担で自分の洋服を世界の誰かが大切にしてくれる。

—そう思うと、ちょっと素敵だとは思いませんか？



—そう思うと、ちょっと素敵だとは思いませんか？

リサイクルすればおこづかいにもなる!?

いろいろなところに持っていき、売るという方法があります。

活用法その3 リサイクルショップに買い取ってもらう

近所のリサイクルショップに持っていくのもいいですし、宅急便での発送を受け付けている業者を利用するのもあります。さらに、買い取れない服は、工業用雑巾として活用してくれる企業もあるので、チェックしてみてもいいかがでしょうか？

活用法その4 フリーマーケットに出してみる

子ども服を探す主婦や、中高年の女性に特に人気があるフリーマーケット(通称：フリマ)。行って買う楽しさを知っている人は多いかもしれませんが、出店もなかなか楽しい



頭の体操！間違えさがしゲーム
上下のイラストで違うところが箇所あります。さあーチャレンジしてみてくださいね！

答えは裏を見てニヤ〜



住宅エコポイントが再開！

知って得コラム

平成 23年度第3次補正予算が成立し、住宅エコポイント制度が「復興支援・住宅エコポイント」と名称を変え再開されることになりました。
今回の制度の目的の一つに被災地復興支援があります。「特定被災区域(※)」に指定されている10県(21市町村)においての新築や耐震改修、リフォーム瑕疵保険に対してポイント配分が厚くなつていたり、ポイント交換商品でも被災地の産品や被災地の商品券などが設定されています。また追加工事への即時交換(ポイントの半分まで充当可能)や省エネ・環境配慮商品との交換などもできます。

工事対象期間は新築は平成23年10月21日、リフォームは11月21日からとなり、平成24年10月31日までに終了となります。住宅エコポイントを利用して、お住まいの省エネと耐震対策をしてみませんか？

※岩手県・宮城県・福島県の全域、青森県・茨城県・栃木県・埼玉県・千葉県・新潟県・長野県の一部(東日本大震災の特定被災区域に指定された10県・21市町村)

裏面にも役立つ情報が満載！